

令和5年度 市長とちよこっトーク（日光地域） 会議結果（要旨）

日時	令和5年10月11日(水) 15時00分～16時30分
参加者	日光市長 日光地域まちづくり協議会 9名
テーマ	私たちの地域を住みよいまちにするためには、どのようにしたらよいか
意見交換	<p>【課題1】「防災(土砂災害)」について</p>
	<p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光地域は山間地、急傾斜地が多く土砂災害について不安。数年前に国土交通省から安良沢浄水場近くに砂防ダムを建設するという話を聞いたが、その後予算確保が理由で遅れているとも聞いた。土砂災害の防止にお力添えをいただきたい。 ・浄水場に被害があるとライフラインに直接影響する。特に利用者が多い安良沢浄水場や細尾浄水場は、土砂災害が起きたときに埋もれてしまうようでは困るので国等への働きかけなど対策強化をお願いしたい。 ・東町には霧降から上水が供給されることになり、古くに日光町で設置した山内の貯水槽は不要になっていると思うが撤去等考えているか。
	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光は「砂防なくして日光なし」という石碑があるくらいに砂防が重要な地域。日光砂防事業の促進期成同盟会に入っており毎年、国交省、関東地方整備局、本省に砂防の要望活動をしている。 ・安良沢浄水場について確認させていただき、引き続き要望活動をしていく。 ・市のホームページでもハザードマップ等で危険地域が示されていますが、なかなか地区防災計画の策定が進んでいないのが防災対策の課題でもある。ぜひ日光地域でも地区防災計画の策定にご協力をいただきたい。 ・山内の貯水槽の件、水道の経路などわからない部分もあるので所管の水道課に状況を確認しておく。
<p>【ご意見を受けての市の見解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光市新水道ビジョンにおいて、東町から所野・和泉方面につきましては、老朽化した施設規模の小さい浄水場を集約し、安良沢浄水場を水源とする新たな給水拠点として小倉山配水池を整備し、当該地区を配水する計画としています。 ・この計画は、小倉山配水池のほか、各地区へ送る水道管を整備し、最後に山内配水池が撤去となる整備計画です。 ・しかしながら、水道管の整備が困難な箇所がでてきてしまったことから、現状では山内配水池が撤去できない状況となっています。 	

意見交換	<p>【課題2】「日光明峰高校の存続」について</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光明峰高校の存続に向けて、積極的に県に働きかけていただきたい。 ・「異なる世代が共に育つ地域」として、学校と地域、大人と子供、など異なる主体がどちらも育つ地域であるためにも高校が必要。 ・高校再編で「明峰高校が無くなる」→「バスが減る」→「スーパーや商店が減る」→「にぎわいがなくなる」→「まちから人がでていく」と負の連鎖がイメージできてしまう。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模特例校として、地域の皆さんの協力をいただきながら着実にいろんな効果が出てきたところ。 ・市では、下宿用の補助を用意するなどいろいろな取組で、日光明峰高校の存続に向けて取り組んでいる。 ・日光地域の皆さん含め、卒業生の方のからもご意見を頂いておりますので、再度申し入れをしたい。
意見交換	<p>【課題3】「高齢者の社会での活躍、いきがづくり」について</p> <p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年が65歳になり、70歳以上でも生き活きと働ける環境が身近に必要。 ・宿泊業、観光業などで従業員が不足している状況にあり、ホテルでは稼働率を高くできないと聞く。外国人を雇用するため、個別に従業員の住まいを用意するなどの努力をしている。従業員の住まいとして、空き家が多い市営住宅を活用するなどはいかがか。 ・雇用対策は人口減少対策にもなるので、中小企業などの実情を知る商工会議所などと行政が協力し、中小企業が雇用の場を増やし、外国人や高齢者の能力を發揮できるようにできないか。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは60歳定年でここから第二の人生をということでしたが、今は年金の支給年齢も上がり、定年延長での再任用や再雇用でそのまま65歳や70歳まで働くようになってきていることで、臨時雇用を求める企業が減っている。 ・元の会社で働けているので、パートを探す必要が無い方も多いという過渡的なこともあるかと思う。 ・市営住宅については、なんとか多様な形で使うことができないかとも思うが、老朽化が進んだ市営住宅では1部屋の修繕にかなりの額が必要となるなど課題がある。 ・雇用について、何とかしていきたいと思うところであるが、労働行政は国・県になっているので、ハローワークと連携して進めていく。 ・国籍や年齢を問わずに就職面接会を毎年開催しているので、このような場でマッチングを進めていきたい。 ・山間部で立地的に人が集まらないなどもあり、知恵を絞って何とかしていかないといけないと考えている。

意見交換	【課題4】「人口減少への考え、対策」について
	<p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内市町の比較でも日光市は転出者がとても多い。人口減少について対策をどう考えているか。日光に永く住んでもらったり、新たに来ていただいたりという施策をどう考えるか。 ・家族で定住いただければ、1人でなく3人、4人と増えるので、家族の永住を目指せると良い。
	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の自然動態や社会動態のデータを見ると、出生者を増やす、転入者を増やすという課題が見える。 ・出生者増として間接的なことになるが縁結びの事業を進めている。これまでも開催しており、なかなか効果が見えるものでは無いと思うが、女性が参加しやすいという視点をもって進めていく。 ・子育て支援策に取り組みながら、結婚できる環境、結婚しようという環境づくりも何か考えていきたい。 ・市内に家を建てる際の木材支援等あるが、定住の特効薬というものも無く、一つ一つ事業の積み重ねで取り組みたい。 ・移住や定住という視点以外に、日光に関心をもってファンになっていただくことで地域の方と交流を持っていただく、一緒に活動いただけるよう”まちづくり人口”への取り組みも進める。
意見交換	【課題5】「女性、子どもの医療環境の充実」について
	<p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光で子育てしたいと思えるように女性や子どもの医療面での環境を充実できないか。人口減少や流出にも係ることであり、暮らしやすい環境づくりをお願いしたい。 ・産婦人科や婦人科について、地域(医療センターと日光市民病院)に週1日でも専門医を派遣いただけるようにならないか。 ・皆が不安に思う医療面を充実していくことで、若い人たちにも日光に住んでもらえると思う。
	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は、地域医療構想の中で宇都宮市内の小児病院群輪番制病院として3病院で受け入れていただいている。 ・これまでもいろいろな要望をいただく中で実現できない理由もあると思うので、週1回でも派遣していただけるようなものが出来るか確認させていただければと思う。 ・住んでいただくために医療環境と就労環境と教育環境は必須と考えている。
	<p>【ご意見を受けての市の見解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が、専門医の派遣を含め、産婦人科や婦人科を設けることは、医師や医療スタッフの確保、収支バランスなどを総合的に勘案した病院の経営体制に関わる判断となるため、市としては、その判断に委ねざるを得ないところですが、機会をとらえて、診療科設置に関する市の支援制度等の周知を図ってまいります。 ・市としまして、まずは、日光地域に医療機関が存続し、医療提供体制が維持できるよう、補助金等を交付し、医療機関の運営を支援してまいります。

意見交換	【課題6】「市財政の安定化(収入確保)」について
	<p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市は財政的に苦しい状況にあり、財源を確保する必要があると聞く。様々な対策を取られていると思うが、法定外目的税による収入確保という視点をどう考えるか。 ・前市長の時に法定外目的税の検討があったようだが、以前あった文化観光施設税や、他自治体で導入のある宿泊税などについて検討されるか。
	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご承知のとおりコロナ禍により宿泊事業者等は非常に大変な思いをされているので、お話しいただいた目的税の導入は今議論にあげるべき内容ではないと考える。 ・市の財政では、ふるさと納税の伸びがあり8億を超えたところ。ホテルの宿泊券、特にスイートルームなど高額な宿泊券に人気があり、ふるさと納税で収入を増やし観光客が増えることで経済効果を高めていきたいと考える。
意見交換	【その他】「外国からの観光客増加」について
	<p>【参加者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の後ということもあってか、喜ばしいことに外国からの観光客が非常に増えている。単なるインバウンドか日光、自然や社寺に魅力があるからなのかどう思われるか。
	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つはやはりコロナ禍の反動と考えるが、円安効果も大きいと考える。また、日光に魅力があることはもちろんだが、欲目に言わせていただくと奥日光の国際会議の誘致もプラスに働いたと思う。 ・継続して来ていただけるようにというのが今後の課題。